

2026年1月13日  
茨城空港利用促進等協議会・スカイマーク株式会社「IBARAKI AIRPORT DREAM PITCH」エントリー受付開始  
～茨城空港の未来を若者の力で拓くアイデアプランコンテスト～

茨城空港利用促進等協議会とスカイマーク株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：本橋 学、以下スカイマーク）は、若年層を対象とした初のアイデアプランコンテスト「IBARAKI AIRPORT DREAM PITCH ～地域と共に未来へ羽ばたく挑戦～」を開催いたします。本日2026年1月13日（火）より、特設サイトにてエントリーの受付を開始しました。本コンテストは、柔軟な発想を持つ15歳から25歳の若年層から、茨城空港及び周辺地域の活性化につながるアイデアを募集するものです。最優秀賞にはスカイマーク往復航空券を含む最大30万円相当の賞品が贈呈されます。

【特設サイト】 <https://www.ibaraki-airport.net/idea-contest/>

## ■開催の背景

この3月に開港16周年を迎える茨城空港は、2010年の開港以来、茨城県のみならず近隣県の航空需要を支える空港として、着実に成長を遂げてきました。2024年度の旅客数は過去最多の約78万人となり、今年度もこれを上回る状況で推移しています。

また、2025年7月には茨城空港が今後果たすべき役割や必要な取組、空港機能のあり方をまとめた「茨城空港将来ビジョン」が策定され、その実現に向けた取組が進められています。今後の取組に当たっては、特にこれからの将来を担う若い世代の視点がますます重要になると考えています。

こうした状況の中、空港を核とした地域の活性化を目指すため、次世代を担う若者の斬新な視点を取り入れたアイデアを募集する本コンテストを開催することを決定いたしました。

## ※茨城空港将来ビジョン

茨城県は2024年度、茨城空港の活性化を県のさらなる発展につなげるため、有識者や県経済・観光団体、空港関係者等により構成する「茨城空港のあり方検討会」を設置し、検討会からの提言、パブリックコメントを経て2025年7月「茨城空港将来ビジョン」を策定した。

## ■「IBARAKI AIRPORT DREAM PITCH」開催概要

項目	内容
大会名称	IBARAKI AIRPORT DREAM PITCH ～地域と共に未来へ羽ばたく挑戦～
募集テーマ	「未来の茨城空港を活性化するプラン」 例) ・外国人や県外観光客の誘致策 ・地域特産品を活用したビジネスモデル ・環境に配慮した空港運営 ・最新テクノロジー（AI、MaaSなど）を活用した空港の未来像 ※テーマはこれらに限定されません
応募資格	15歳～25歳の方（個人またはグループ※1グループ3名まで） ※学生・社会人問わず。居住地や所属組織も問いません
賞品	最優秀賞（1組）：最大30万円相当（スカイマーク航空券往復、茨城名産品セット） 優秀賞（2組）：最大5万円相当（モデルプレーン、フォワードシート優待券、茨城名産品セット） ファイナリスト賞：本選出場者全組へ（茨城空港・スカイマークノベルティセットほか）

## ■スケジュールと審査について

エントリーから本選までの流れは以下のとおりです。

- ・エントリー期間（予選）：2026年1月13日（火）～3月1日（日）
- ・オンライン説明会：2026年2月6日（金）
- ・書類審査・結果発表：本選出場者（最大8組）を決定  
3月下旬までに本選出場者へ通知
- ・本選：2026年5月10日（日）13:00～18:00
- ・本選会場：水戸市民会館 小ホール



※本選では各チーム10分間のプレゼンテーションを行い、審査員との質疑応答が行われます。  
また、ステージ上での発表スタイルは自由です。（動画やスライドの使用など）

【本選審査員】茨城空港に深い知見を持つ産官学の関係者や航空業界の専門家、計5名が、「独創性・新規性」「論理性・具体性」「地域への貢献度」「表現力・熱意」を基準に審査を行います。

- ・審査員長：平田 輝満 氏（茨城大学学術研究院 教授）
- ・鳥海 高太朗 氏（航空・旅行アナリスト）
- ・深谷 一広 氏（小美玉市 副市長）
- ・久保 三千雄 氏（茨城県 営業戦略部長）
- ・荒牧 秀知 氏（スカイマーク株式会社 取締役専務執行役員）



審査員長

平田 輝満 氏  
茨城大学学術研究院 教授

## ■協賛等

- 主催 茨城空港利用促進等協議会、スカイマーク株式会社
- 後援 茨城新聞社、水戸経済新聞
- 協賛 JAなめがたしおさい、ヤマダイ株式会社
- 協力 国立大学法人 茨城大学

